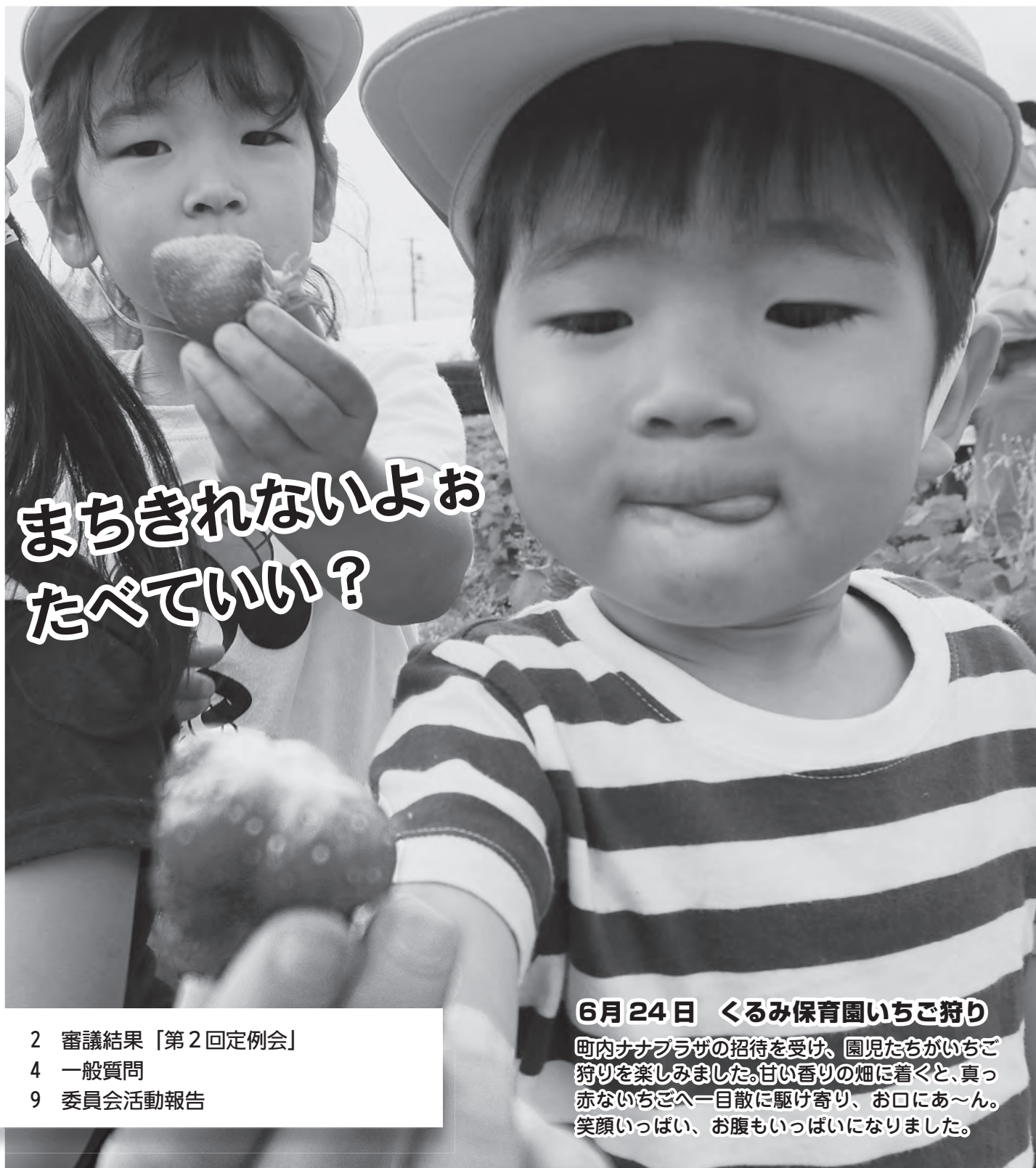


ぴっぷ議会だより



まちきれないよお
たべていい？

6月24日 くるみ保育園いちご狩り

町内オナプラザの招待を受け、園児たちがいちご狩りを楽しみました。甘い香りの畑に着くと、真っ赤ないちごへ一目散に駆け寄り、お口にあ〜ん。笑顔いっぱい、お腹もいっぱいになりました。

- 2 審議結果「第2回定例会」
- 4 一般質問
- 9 委員会活動報告

6月16日 第2回定例会



国保税条例の改正など議案 12 件を審議

6月16日に開かれた令和3年第2回定例会では町の課題等に対し、5議員が一般質問をしました。議案12件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4〜8ページに掲載しています。

報告

◆令和2年度比布町緑越明許費繰越計算書

地方自治法に基づき、次の事業を令和3年度に繰り越して執行することが報告されました。

◇一般会計（情報化促進事業・新型コロナウイルスワクチン接種事業・小中学校管理事業）

◇公共下水道事業特別会計（下水道施設整備事業）

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦

委員の任期満了に伴い、次の方の推薦について適任としました。

大川 智 氏（南町・新任）

契約

◆北町令和団地B棟建築主体工事請負契約の締結

北町令和団地B棟の建築にあたり、工事請負契約を締結するものです。 【原案可決】

決定

◆損害賠償額の決定

一般公用車の事故による賠償額が決定されました。 【原案可決】

条例

◆比布町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴う条例改正です。 【原案可決】

◆固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

法令改正に伴い、申出書等の押印を不要とする規定を整備するものです。 【原案可決】

◆比布町手数料条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードの再発行に係る手数料の徴収事務に関して法律が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。 【原案可決】



令和3年度各会計補正予算（第2回臨時会）
一般会計（第2号） 184万1千円の増（総額38億9,535万2千円） ■自動車損害共済金の増
令和3年度各会計補正予算（第2回定例会）
一般会計（第3号） 5,113万7千円の増（総額39億4,648万9千円） ■新型コロナウイルスワクチン接種事業委託料の増、 交流促進施設運営事業委託料の増ほか
国民健康保険特別会計（第1号） 436万7千円の増（総額5億5,350万5千円） ■税率改正に伴う保険税の減、前年度決算額確定による 繰越金の増ほか
介護保険特別会計（第1号） 5万2千円の増（総額5億7,447万9千円） ■介護予防事業に係る国庫補助金の増ほか

◆比布町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法等及び令和3年度税率、新型コロナウイルス感染症の影響による減免の特例を改正するものです。
【原案可決】

◆比布町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

法律の改正により、電子資格確認が追加されたことに伴い、条例を改正するものです。
【原案可決】

◆比布町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法の改正に伴う条例改正です。
【原案可決】

◆比布町営住宅管理条例の一部を改正する条例

法律の改正に伴う条例改正です。
【原案可決】

補正予算

◆一般会計（第3号）

◆国保特別会計（第1号）

◆介護保険特別会計（第1号）

補正額と総額、主な内容は上の表のとおりです。
【原案可決】

第2回臨時会

4月28日

◆財産の取得

除雪用10トンダンプを1台購入するものです。
【原案可決】

◆損害賠償額の決定

一般公用車の事故による賠償額が決定されました。
【原案可決】

◆一般会計（第2号）

補正額と総額、主な内容は上の表のとおりです。
【原案可決】

第3回臨時会

7月2日

◆財産の取得

町立診療所の超音波画像診断装置（エコー）を更新するものです。
【原案可決】

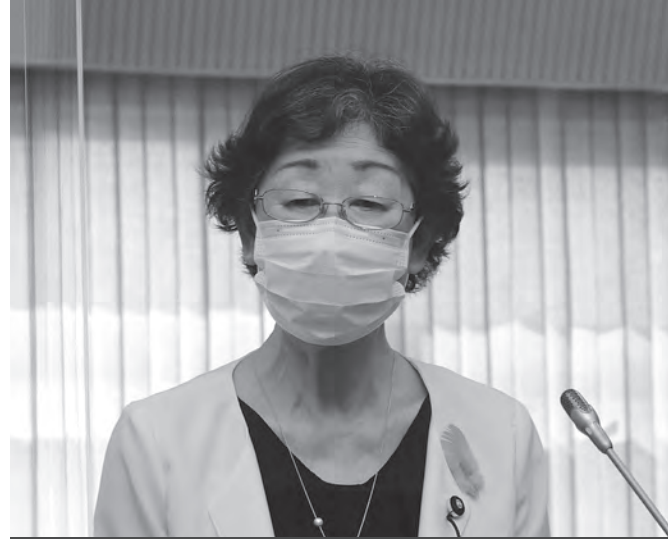
（賛成6 反対2）



公共施設等は大切に管理を 住民の声は届いているのか

村中町長

利用者の声を大切にしながら 計画的に適切な管理をしていきたい



安藤 裕子 議員

□質問・安藤議員

公共施設は税金をかけて設置したのだから、もっと大切に扱ってほしいと町民の怒りの声があることをご存知でしょうか。

今回、改善センター駐車場公園側のフェンスが雪害により傾いたもののほかに、撤去の必要がないと思われるものまで取り除かれてしまいました。

また、老人センターは冬場、窓ガラスが破損し、ガラスの入れ替えを行っているのですが、目張りの木材を当てるなどすることで、経費の削減ができるのではないのでしょうか。

数年前には百年記念公園周りの植木（石の間のハマナス）を木が大きくなり過ぎたなどの理由で根元から切ってしまう、毎年、花や実を楽しみにしていた町民をガッカリさせていることをどうお考えでしょうか。

小さな声はなかなか届きづらいとは思いますが、そののをくみ上げ、「住んで良かった」と思える、思いやりのある町政をどう構築していこうとしているのか、町長の考えをお聞かせください。

■答弁・村中町長

町が管理している公共施設は、道路や上下水道、体育館や図書館、

公園やスキー場など多岐に渡り、維持管理については、公共施設等総合管理計画に基づき作成した個別施設計画（長寿命化計画）に沿いながら、計画的に進めているところですが、

改善センター駐車場公園側のフェンスは経年劣化や雪害などにより基礎から大きく傾き、修繕をするには、基礎もフェンスも新たに設置し直さなければならぬほどの大きな工事になることが見込まれ、また、後年度に同じことが起こることが想定されたため全部撤去し、安全面や景観などの観点からネットフェンスに変更しました。

老人センターは例年、高齢者事業団のご協力をいたいただきながら、屋根の雪下ろし作業、落雪などにより窓ガラスが破損しないよう予防策を講じていますが、今年の冬は大雪の影響もあり、窓ガラスの一部が破損し、ご迷惑をおかけしました。今後は降雪状況などに十

分配慮し、施設の適正な管理に努めます。

また、百年記念公園内のハマナスについては、公園管理を受託している企業と協議の結果、木が枯れてしまったことや成長した樹木の根が歩道を押上げ通行の妨げになっていくこと、また、枝のトゲが危険を及ぼす恐れがあると判断し伐採しました。様々な事情により撤去せざるを得ず、毎年開花を楽しみにしていた皆様には残念な思いをさせていただきましたが、ご理解をお願いします。

「住んで良かった」と思えるまちを目指し、町民皆様の声に耳を傾け、協力、協調、協働しながらまちづくりを進めていきます。

□質問・安藤議員

フェンスやハマナスの件について、管理するにはそれなりの大変さや苦勞もわかりますが、今後町民一人ひとりの心に届く町政であってほしいと思います。

■答弁・村中町長

町では、町長への手紙、まちづくり懇談会、今年は新たに「ぴっぴ未来会議」を開催し、できるだけ多くの皆様からご意見をいただき、行政を進めていきたいと思えます。



改善センター駐車場公園側
ネットフェンス



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

社会問題になっている 「生理の貧困」への対応は

北川教育長

生命や性に対する教育を充実させ 公共施設への設置なども検討を進める



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

「生理の貧困」が大きな社会問題となつています。子どもが学ぶ男女の性教育、教師の視点、親たちの「子どもたちが生理の尊厳を学ぶ機会」を現場ではどのようにされていますか。

全国的には生理用品をトイレに設置する学校や、「保健室で入手できる」「無料配布する自治体」「寄付をする女性団体・企業」も増えています。比布町の学校施設等で児童・生徒が安心して入手できるように、提供方法や設置場所等の工夫について、教育長に伺います。

■答弁・北川教育長

日本の17歳以下の子どもの貧困率は、2019年国民生活基礎調査によりますと7人に1人で、経済的な理由などで生理用品を入手することができない状態、いわゆる「生理の貧困」が問題視されています。また、経済的理由だけで



なく、生理をタブー視されることや十分な性教育を受けられない環境にある子どもも指摘されています。

これを受けて、政府は本年4月、子どもの貧困問題への対応の一環として、学校で生理用品を必要とする児童・生徒への対応を進めることなどを、「子ども・若者育成支援推進大綱」に掲げることを決定しました。また、この大綱では、「学校で生理用品を必要とする児童生徒への対応をするよう教育委員会に対し促す」と示されています。

このような状況にあつて、これまで以上に学校教育において子どもたちが生命を大切にし、人権を尊重する心を育むとともに、性に関する科学的知識と倫理観を身につけさせる必要があります。学校における性教育の目標設定や指導内容の選択にあたっては、今日的課題を十分配慮していくことが重要とされています。

生理用品については、小・中学校とも保健室に常備し、申し出等のある子どもなどに対して提供しています。健康の基礎となる心身を形成する重要な時期での子どもたちの生活を守るため、「生理の貧困」を含めた性教育に対する教職員の意識と指導力のさらなる向上に努めるとともに、子どもたち

へのきめ細かな健康観察を通して、「生理の貧困」の実態に陥ることのないよう、生理用品の提供や設置場所等についても学校と連携して対応に努めていきます。

□質問・遠藤議員

設置することなのですが、保健室に養護教諭がない場合もあるため、女子トイレの個室にも置いてほしいと思います。また、女性がよく利用する公共施設への配備など、生理用品が気軽に誰でも手に入るところへの設置も希望します。「トイレトペーパーも生理用品も同時に設置されている」ことが当たり前となるよう、女性に対する配慮がなされるようお願いいたします。

■答弁・北川教育長

トイレに設置することも含めて検討し、提供についても生理の貧困の解消に繋がっていくよう公共機関、施設等でも可能かどうか考えていきます。





小学生の提案 町を明るくするための補助は

村中町長

啓蒙活動で意識を高め 地域全体での取り組みにつなげたい



植西 浩一 議員

① イベントなど開催に向けて

□質問・植西議員

わが町は、昨年のイベントで一つの成功事例を作り上げました。昨年の反省と改善を踏まえて、今年度はどのようにイベント開催を考えているのかお聞かせください。

■答弁・村中町長

一人でも多くの町民が笑顔で心安らかなひとときを過ごせるよう、十分に検討した上で進めていきます。なお、イベント再開については、各組織の判断になります。開催される場合は、感染拡大防止に努めながら町として必要な支援を行っていきます。

□質問・植西議員

ワクチンの接種率が上がり、新型コロナウイルスのリスクが軽減されていきます。このような状況で最悪のことばかりを想像していると経済が復活しないのではないかと思います。町長の考えは。

■答弁・村中町長

もう少しで一定程度のワクチン接種が終わりますので、その効果が表れたと実感できるまでは、やはり、まだ慎重に対応していかなければいけないという考え方です。

□質問・植西議員

昨年は可能性ばかりを想像していましたが、今年に入り、科学や統計で明らかにされたことがたくさんあり、蓋然性^{※がいぜんせい}をベースに議論できる段階に入りました。

また、「地方の時代」と言われる現代では、地方という現場で成功事例を作り上げ、それを国がくみ上げて経済再開のきっかけになるのではないかと思います。そのきっかけを比布町で作ることはできないでしょうか。

■答弁・村中町長

イベントや事業については、ただやって楽しかったということではなく、心の健康に相当貢献するものであると感じています。心配ばかりしていても進むことはなく、また、リスクを無視して行うこともできません。そこはバランスを考慮しながら、一つひとつ検討していきます。

② 町の灯り^{あか}について

□質問・植西議員

小学生の活性化プロジェクトに寄せられた提案に、以前灯りがあったのに点灯しなくなったところがあり、明るくしてほしいとの要望がありました。防犯の観点からも

各家庭での防犯灯等の設置に補助をするなどして、町をもっと明るくすることはできないでしょうか。

■答弁・村中町長

町では昨年度、防犯灯の設置箇所についてアンケートを行い、それを基にLED防犯灯を25基増設しました。また、駐在所では夜間や早朝に警ら活動等にご協力をいただき、町民の安全・安心を図っています。

小学生の提案については、協議をしていきたいと考えます。

□質問・植西議員

ソーラー式ライトについて、効果をどのように考えていますか。

■答弁・村中町長

それぞれの家庭で明るくすることはとても良いことだと思います。しかし、設置に補助をすることは、その意義が大切です。広報紙などで様々な事例を紹介し、啓蒙した上で住民の意識を確認しながら検討します。

※蓋然性^{※がいぜんせい}ある事柄が起こる確実性や、ある事柄が真実として認められる確実性の度合い。確からしさ。



びびたく事業の拡充と 地域交通体系の課題解決を

村中町長

令和3年度中に大枠を示し 4年度から具体的に改善をしていく



今井 明信 議員

□質問・今井議員

高齢化が進む町内で自動車の所有がなく、自ら自動車等の運転ができない方がいます。「びびたく」を利用するには一定の線引きが必要とのことですが、基準の見直しはいつ、どのようなときなのでしょうか。「びびたく」事業の拡充について2点質問します。

① 障がいにより利用制限をしている理由について。

② 年齢制限をする理由について。

また、過去に福祉バス、スクールバス、クリニック送迎バス等、町内交通体系の効率的な運用を検討したいと答弁がありました。現状を伺います。

加えて、蘭留や東園などの地域の状況に応じ、現状を把握してアンケート調査を行うとの答弁もありました。現段階での調査状況を伺います。

■答弁・村中町長

① 「障がいにより利用制限をしている理由」については、可能であればすべての制限を撤廃したいと考えますが、現在の体制で対象人数を増やすことは、利用回数からなる制限など、現在利用されている方へのサービス低下を招いてしまいますので、一定の基準を設ける必要があると考えています。

② 「年齢制限をする理由」については、「びびたく」は高齢者の「生活の足」を確保するための施策です。65歳以上の基準を設けています。ただし、障がいの区分に該当しない場合や65歳未満でも移動することが困難な方が少なからずおられることから、これまでも一義的に「利用できない」とすることはせず、実施要綱にも「その他町長が必要と認める者」という条件を設けていますので、個別にご相談いただければと思います。

なお、本年度中には、民間公共交通機関を含めた町全体の移動支援体制について一定の方向性をお示しし、来年度から随時具体的な改善策を実施する考えです。「びびたく」事業についても、現在の利用状況等を踏まえ、車両台数や運行時間、対象者区分など、利用基準の見直しなども併せて協議していきます。

また、地域交通体系の検討状況については、本年度末を目的に、町内無料送迎バスや、びびたかのほか、JRや道北バスなどの民間事業者も含めた総合的な公共交通のあり方について、関係者の皆様と研究を深め、本町の実態に合った交通体系の方向性を見出すこととしていきます。

□質問・今井議員

「びびたく」事業の見直しを協議するようですが、現在、町内を循環しているバスがあります。例えば、遊湯びびの送迎バスと福祉バスに年間約530万円の経費がかかっています。乗車率も低いです。財源の見直しと障がいのある方の利用対象範囲を考えていただきたいと思えます。

■答弁・村中町長

基準は撤廃したいというのが希望ですが、対応できるかどうか検討、協議しているところです。障がい区分の撤廃をすると、対象者がおよそ190人増えますので、そうなる現在の体制ではできないことが想定されます。

□質問・今井議員

運転免許証の返納率も上がっています。現在、町長の考える交通体系がどのようなものか伺います。

■答弁・村中町長

令和3年度中に大枠については示したいと思えます。



義務教育学校への移行は 住民理解が得られているのか

北川教育長

本町の子どもたちに最大限充実した 教育環境を整えるため、移行を判断した



佐藤 康則 議員

□質問・佐藤議員

本町の初等教育は明治29年、蘭留地区の私設渡辺教育所の開設から始まり、その後、32年に必富尋常小学校本校（旧蘭留小）・西分教場（旧比布小）他2地区に分教場が設置され、昭和22年、学校教育法（6・3制）の導入後に、南小学校と西分校が開設されました。

昭和42年、初代中央小学校建設を基に統合され、校訓『愛』（開学の精神）先人に思いを馳せる校歌が制定されました。

中学校は昭和22年に創設されるも、財政金融引き締め政策（ドッチライン）により、財源・物資・労力が不足し、当時の町長（宮崎乗雄氏）が中央省庁に不屈の折衝を重ね、町民参加の施工で悲願の開校を迎え、翌23年に校章・郷土開拓をしのぶ校歌が制定されました。

現在は平成20年に新中央小学校が、30年に現中学校が併設・連携・一貫を目的に改築されました。

これまでの学校運営は、まちづくりと密実な経過があり、併設連携を目的に建設された中学校がわずか3年で校舎の改修まで行い義務教育学校制導入を目指すのか、内部機構変更の協議はどの範囲で行われ、町民理解を得ての令和4年度の導入か伺います。

■答弁・北川教育長

義務教育学校への移行は、比布町の子どもたちのために、最大限充実した義務教育環境を整備するためです。

移行時期は、理事者・教育委員会を重ね、道教委や校長との意見交換・先進校視察と基礎を築き上げた

教職員在任中の移行が理想で、慎重な協議の上、令和4年度の実施を判断したところです。また、保護者や同窓会役員、学校運営協議会に対し説明と意見交換を行ったほか、町民の皆様に進捗状況を含め町広報紙でお知らせしていく予定です。

□質問・佐藤議員

学校がまちづくりや地域コミュニティの核であることを踏まえ、行政のトップダウンや教育委員会の一方的な計画ではなく、児童生徒・保護者・町民に十分な説明期間を充当し、まちづくりの調和と整合性を図ることが必要不可欠で、その準備・熟慮期間が不足しています。

周囲の後押しなしに、その後の運営が円滑に進行するか疑問に思い、時期尚早と感じています。広く町民の意見を拝聴し、「是非を問う」ところから進めなければいけないと考えます。学校建築同様「公平なる検討委員会」を選任設置し協議をされたか。非設置であるなら、その理由も伺います。

■答弁・北川教育長

独断で判断したわけではなく、理事者、教育委員会を重ね、道教委の助言もいただいています。

行政で判断し、校長と私とで最終決定機関となる部会を組織編成し、準備を進めています。

□質問・佐藤議員

6月の町広報紙に道内14校が義務教育学校移行となり、今後はさらに増加の傾向と記載されました。

移行の14校は市町村合併や過疎地域で学校存続手段として変更された実例が多数で、他は複数校が既存し、

義務教育学校以外の選択肢が残されています。

背景の異なる地域を例に挙げ、一言に増加傾向との表現は不適切ではないか伺います。

■答弁・北川教育長

平成27年度に学校教育法が改正され、2、3校だった義務教育学校が14校に増加しました。数的なもので判断して表現しましたが、その部分は訂正させていただきます。

□質問・佐藤議員

また、記載の内容に「中1ギャップが社会問題」、「一貫教育の限界」、「小・中学校は水と油のように文化が違う」、「飛躍のチャンス」、「一つの学校になることで充実可能」等、保護者や町民心理をかきたて追い詰めかねない過度な説明に疑問を感じます。その点はどのような所見か伺います。

■答弁・北川教育長

記載した内容が率直なところで、子どもたちや保護者・地域の方々が、学校がこのように変わる配備の意味で捉えていただければと思っています。

□質問・佐藤議員

移行することが終着点ではなく、大切なことはその後の運営で、移行についての理解を広く求め、学校全体を支援していただける環境が整った時点で判断したいと考えます。

■答弁・北川教育長

今できる最大限の義務教育環境を子どもたちに与えたく、一日でも早く移行し、新たな教育を進めていきたいと考えていますので、ご理解ご協力をお願いします。

委員会の activities

活動

総務常任委員会

6月7日開催

Q…委員からの質疑
A…担当からの回答

【税務住民課】 《報告事項》

■ 令和2年度町税等の調定及び収納状況

■ 上川広域滞納整理機構の収納状況
▼ 令和2年度 11件、約391万円を引き継ぎ、うち8件が完納

▼ 令和3年度 10件、約273万円を引き継ぐ

《協議事項》

■ 第2回議会定例会提出議案

◇ 比布町税条例等の一部改正案
地方税法等の改正による町条例の改正

◇ 固定資産評価審査委員会条例の一部改正案

法令の改正により「押印不要」となる届出等の規定を改正

◇ 比布町手数料条例の一部改正案
マイナンバーカードの再発行手数料に関する規定の改正

《その他》

■ 確定申告相談・受付 282件

■ 令和2年度マイナンバーカード交付件数 604枚

■ 公衆浴場給油ボイラー修理による臨時休業

■ 合同墓の収蔵状況等

■ クリーン作戦実施状況

【保健福祉課】 《報告事項》

(1) 福祉係

■ 令和2年度高齢者等の冬の生活支援事業

■ 令和2年度高齢者移動支援（ぴたく）

■ 令和2年度保育施設等入所児童数

■ 令和2年度児童手当等支給状況

■ 令和2年度障害者自立支援給付

(2) 保健係・予防係・栄養指導係

■ 令和2年度健診等結果状況等

(3) 介護保険係

■ 令和2年度介護保険特別会計決算見込

■ 介護給付費の推移

(4) 地域包括支援センター

■ 令和2年度地域包括支援センター運営実績

■ 令和3年度一般介護予防事業

(5) 国保医療係

■ 令和2年度国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計決算見込

■ 令和3年度国民健康保険税率案

《協議事項》

■ 第2回議会定例会提出議案

◇ 人権擁護委員候補者の推薦

◇ 比布町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正案

◇ 国民健康保険条例の一部改正案

◇ 介護保険条例の一部改正案

◇ 令和3年度一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計補正予算案



【生涯学習課】 《報告事項》

■ 教育委員会機構図

■ 令和2年度教育奨励賞表彰者

■ 児童生徒数と学級編制数及び教職員体制

■ 学校運営協議会の経過と予定

■ 義務教育学校移行の進捗状況

Q 子どもへの9年間の教育が一貫したものになるのか。

A しっかりと義務教育学校に移行していきます。

■ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置

■ 令和2年度学校給食費会計の決算状況

■ 令和2年度社会教育施設の使用料等

■ 令和2年度図書館の利用状況等

■ 令和3年度スポーツ少年団、公民館教室等の加入状況

■ 幼児・小学生運動教室



幼児向け運動教室

- 所管施設工事発注状況
- ◇百年記念公園親水池補修工事
- 北海道緊急事態措置における学校・社会教育施設等の対応

《その他》

- 中学校修学旅行
10月5日～8日、行先を道南方面に変更
- バレーボール町技50周年記念事業
7月18日開催予定

【総務企画課】

《報告事項》

- 第2回議会定例会提出議案
- 町債について（2年度決定・3年度申請）

- 令和2年度比布町各会計決算見込・基金の状況

- Q年度ごとに庁舎基金を積立していかないのか。

- A具体化していきたいと考えます。

- ふるさと納税の状況

- ▼令和2年度実績 2,507件、約3,819万円

- ▼令和3年5月末 246件、約656万円

- 新型コロナウイルス感染症に伴う対応

- 空き地・空き家対策

- 「みんなの0円物件」の説明（固定資産税納入通知書に事業内容のチラシが同封されています。）

- 運動と食による脳の活性化事業プロジェクトチーム立ち上げ

- その他

- ◇押印廃止に向けた状況
各行政手続き等の現状把握を行い、今後のオンライン手続きの導入について検討

- ◇警戒レベルの改正
- ◇地域おこし協力隊の任命

- 新規に上野貴弘氏を任命。運動と食による脳の活性化事業などで活動します。

- ◇国土強靱化計画の策定

- ◇EXIT「萎えぼよエリアぶちアゲ活性化ツアー」の開催

《協議事項》

- 第2回議会定例会提出議案
- ◇一般会計・公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

- ◇令和3年度一般会計補正予算案



7月11日、中学生に道徳講話を行った人気芸人EXITのお二人との記念撮影

総務常任委員会

7月2日開催

【保健福祉課】

《協議事項》

- 第3回議会臨時会提出議案

産業建設常任委員会

4月28日開催

【建設課】

《協議事項》

- 第2回議会臨時会提出議案

産業建設常任委員会

6月2日開催

【産業振興課】

▽農林部門

《報告事項》

- 農作物の作付状況

- (1)各作物の作付計画

- ◇水稲 134戸 150、743・6㍓

- ◇小麦 24戸 8、863・8㍓

- ◇かぼちゃ 43戸 4、155・2㍓

- ◇作業受委託契約状況

- ◇作業受託組織

- 4組織 30、119・5㍓



田植え作業

- ◇牧草作業組織

- 8組織 15、203・7㍓

- 経営所得安定対策

- 産地交付金の活用方法案

- 町単独補助事業の実施予定

- ◇農業振興事業

- 堆肥盤設置事業、有害鳥獣対策事業

- ◇農地流動化促進対策

- 売買取援、賃貸支援

- ◇青果物等振興事業

- そ菜、^{がき}花卉作付け拡大推進事業、園芸用ハウス導入支援事業、いちごの活力創造事業、青果物等振興対策事業

- ◇畜産業関係

- 畜産導入奨励事業、死へい牛適正処理事業

- ◇土地改良事業の実施予定

- 道営事業 拓進地区

- 多面的機能支払交付金事業に係る町内環境保全活動組織の広域化

- 中山間地域等直接支払制度の運用の見直し

■ ぴっぴいちご誕生100周年記念事業

■ クマの目撃情報報告

《協議事項》

■ 第2回議会定例会提出議案

◇ 令和3年度一般会計補正予算案

■ 新型コロナウイルス感染症の影響

◇ 比布町における農畜産物の販売状況

▽ 商工・観光部門

《報告事項》

■ 令和2年度各施設の利用状況

■ 各イベント等の実施予定

■ 令和2年度商工業振興事業補助金

■ 令和2年度地方創生対応臨時交付金を活用した事業

(1) 観光施設利用促進事業

(2) 良佳村エリアの魅力磨き上げ事業

■ 令和3年度地方創生対応臨時交付金を活用した事業

(1) 「ぴっぴの事業所応援給付金」



くるみ保育園いちご狩り

教えて！議会のぎもん



Q 委員会とは何ですか？

A 議員が全員集まって話し合うと、多くの時間がかかります。このため、グループに分かれて詳しく調べたり、話し合いをしたりします。この会議を「委員会」といいます。

★ 常任委員会

ふだんある町の仕事を分けた委員会を「常任委員会」といい、比布町議会には2つの常任委員会（総務常任委員会・産業建設常任委員会）があります。議員は、2つの常任委員会のうち、必ずどれかに所属することになっています。また、住民や団体などからの要望文書（請願・陳情）を調べて、話し合うのも常任委員会の役割です。

★ 議会運営委員会

本会議の進め方や日程などを話し合います。これを「議会運営委員会」といいます。議会をスムーズに進めるための決まりを話し合うものです。また、議長から尋ねられたことを詳しく調べることも行います。

★ 特別委員会

特定の目的を審議するために必要に応じて作られる委員会があります。これを「特別委員会」といい、議会の議決によって設置されます。

比布町議会では現在、2つの特別委員会（議会広報特別委員会・議会改革特別委員会）を設置しており、その他に予算や決算を審議する際にも特別委員会が設けられます。

交付事業

(2) 商工業振興事業

(3) 新ぴっぴスタイルイベント補助事業

(4) 「支え合おう！ぴっぴの元気づくり商品券」給付事業

(5) 再就職応援対策事業

(6) 「ぴっぴの観光」受入体制支援事業

《協議事項》

■ 第2回議会定例会提出議案

◇ 令和3年度一般会計補正予算案

■ 令和3年度ぴっぴスキー場営業方針案

【建設課】

《報告事項》

■ 建設工事の発注及び進捗状況

◇ 土木維持関係

道路区画線表示工事ほか

■ 令和2年度町営住宅使用料の収納状況及び令和3年度管理状況等

◇ 2年度分収納率 99・80%

◇ 滞納繰越分収納率 85・83%

◇ 町住管理戸数 289戸

■ 令和2年度上下水道使用料等の

収納状況

◇ 水道料金収納率 99・79%

◇ 下水道使用料収納率 99・85%

■ 繰越明許費

◇ 下水道事業整備事業

《協議事項》

■ 第2回議会定例会提出議案

◇ 損害賠償額の決定について

◇ 北町令和団地B棟建築主体工事請負契約の締結

◇ 比布町営住宅管理条例・施行規則の一部改正案

◇ 令和3年度一般会計補正予算案

【農業委員会】

《報告事項》

■ 令和3年度農業委員会活動計画

■ 令和3年度農業委員の業務概要・農業概況

議会のうごき

5月

- 10日 上川地方総合開発期成会定期総会及び専門部会 (旭川市、議長)
- 13日 大雪浄化組合議会臨時会
愛別町外3町塵芥処理組合議会臨時会 (愛別町、組合議員)

6月

- 2日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 7日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
大雪消防組合議会全員協議会 (東川町、組合議員)
- 11日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 14日 大雪消防組合議会臨時会 (美瑛町、組合議員)
- 16日 第2回議会定例会 (役場、全議員)
議会広報特別委員会 (役場、委員)

7月

- 2日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第3回議会臨時会 (役場、全議員)
- 13日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 16日 自由民主党北海道第六選挙区支部政経セミナー (旭川市、議長)
- 26日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

予告

次回の議会定例会は9月上旬です。

9月定例会では、令和2年度の決算審査を行う「決算特別委員会」が開かれます。

委員会では不適切なものや非効率なお金の使い方などを質疑を通じて明らかにし、今後の予算編成に反映させることができます。予算の使われ方をより一層適切で効率的なものにしていくために、決算審査は重要な役割を持っています。

詳しい日程は、無線放送等でお知らせしますので、お気軽にお越しください。

編集後記



6月下旬から天候もよく、町内外から多くの人で賑わいを見せた比布のいちご狩り。新型コロナウイルスの影響もあり、外出もままならない中でしたが、小さいお子さんを連れただご家族から年配のご夫婦、若い人たちなど、様々な世代の方々が楽しそうにいちごを食べていました。

そんなぴっぷりいちごは、大正10年(1921年)、農家がおやっとして植えたのが始まりとされており、今年で誕生100周年となります。

記念事業もいろいろと計画され、7月には赤い妖精(四季成りいちご)を使用した100周年記念特別メニューも町内飲食店で販売されました。各飲食店の趣向を凝らしたメニューに、多くの方がぴっぷりいちごの魅力を再発見されたと思います。

これまで、100年の歴史を作り上げ、ご尽力されてきた生産者の皆さんへ敬意を表するとともに、これからもさらなる歴史を作ってください。比布に生まれ育った子どもたちのふるさとの味として、そして、町民の皆さんに愛されるぴっぷり自慢のおいしいいちごを生産してほしいと思います。

(大熊 勝幸)

議会広報特別委員会

- 委員長 安藤 裕子
- 副委員長 谷口 雅浩
- 委員 遠藤 雅子
- 佐藤 康弘
- 大熊 勝幸